

4 社会人権教育

(1) 社会人権教育研究協議会

地域ぐるみの人権教育の推進を図るために、広く人権教育関係者を対象に開催し、地域の実態に即した人権教育推進上の諸問題について研究協議した。

ア 期日・会場

- ・ 7月 3日 (火) 長野合同庁舎
- ・ 7月 5日 (木) 長野県男女共同参画センター
- ・ 7月 6日 (金) 小諸市文化センター
- ・ 7月 13日 (金) 松本合同庁舎
- ・ 9月 24日 (火) 飯田合同庁舎

イ 参加対象者 市町村教育委員会事務局職員、公民館関係職員、社会教育関係団体代表者及び企業内人権教育関係担当者等

ウ 参加者 835人

(2) 長野県人権教育リーダー研修会

人権教育の具体的な推進方法の究明、地域住民とともに活動する指導者（地域リーダー）の資質の向上と、指導力の強化を目的として開催した。

ア 期日・会場

- 8月 31日 (金) 県総合教育センター (中南信会場)
- 9月 7日 (金) 千曲市更埴文化会館 (東北信会場)

イ 参加対象者 社会教育関係職員（社会教育主事、公民館長、公民館主事、社会教育指導員等）、社会教育団体関係者（PTA、女性団体、青年団体）、企業内人権教育関係者、隣保館関係者、学校人権教育関係者等

ウ 参加者 450人

エ 研修の目的 「長野県人権教育・啓発推進指針」や「人権教育推進プラン」をふまえた様々な人権問題の解決を目指した地域ぐるみの人権教育を推進するため、教育・啓発活動の今日的な取り組み課題を明らかにしながら、地域住民とともに活動する指導者（地域リーダー）の資質向上を図る。

オ 講演 中南信会場 「故郷を追われた人たち」
～日本のハンセン病から何を学ぶか～
伊波 敏男（ハンセン病回復者、作家、長野大学客員教授）
東北信会場 「同和教育が大切にしてきたこと」
～戦後同和教育の歴史に学ぶ～
外川 正明（鳥取環境大学教授）

カ パネルディスカッション 中南信会場テーマ「ハンセン病問題の解決に向けての課題と展望」
コーディネーター 宮下 英子（長野人権擁護委員協議会人権擁護委員）
パネリスト 伊波 敏男
畑谷 史代（信濃毎日新聞社論説員）
小林 登志（上田市立丸子北中学校教諭）

藤原 希美（京都大学の学生）
 大池 昌弘（中信教育事務所生涯学習課指導主事）
 東北信会場テーマ「同和問題の解決に向けての課題と展望」
 コーディネーター 宮下 英子（長野人権擁護委員協議会人権擁護委員）
 パネリスト 外川 正明
 星沢 重幸（部落解放同盟長野県連合会前執行副委員長）
 島田 一生（長野市立東部中学校教諭）
 鳴澤恵美子（部落解放同盟東御市協議会書記長）
 白鳥 貴文（東信教育事務所生涯学習課指導主事）

(3) 社会人権教育リーダー養成講座

地域住民とともに、あらゆる人権問題の解決に向けた学習活動に取り組む地域リーダー（指導者）を育成する。

ア 期日・会場

地 区	実 施 日		
東信地区	7月30日	10月5日	
北信地区	6月15日	10月19日	1月16日
中信地区	6月11日	10月3日	11月15日(20日)

上記（県下3会場で8回の講座）の他、社会人権教育研究協議会及び社会人権教育リーダー研修会に参加する。

イ 参加者 240人

ウ 講座内容 演習・講義・現地学習 等

(4) 人権教育促進事業補助金 (補助率 1/2)

人権教育講座等を開設、開催した市町村にその経費の一部を補助した。

教育事務所	市町村数	人権教育講座数	補助金額 (千円)
東 信	10	35	675
南 信	21	30	690
中 信	9	16	325
北 信	8	32	751
計	48	113	2,441

(5) 「人権つうしん」の発行

企業やNPO法人等の各種団体、地域コミュニティーにおける社会人権教育の一層の推進を図るため、個別的な人権課題を中心に作成し、人権教育啓発資料として配布した。

- ア 発行回数 年2回
- イ 発行部数 各回 8,000部

(6) 「長野県地域人権ネット」

人権問題に取り組む個人や団体と県民や行政が相互に連携しながら、地域ぐるみの人権教育の推進を支援するため、取り組みの情報を県のホームページに掲載し、活動状況を情報交換した。

- ア 登録状況 95団体・個人(25年3月末現在)
- イ ホームページへの掲載